

令和5年度 指定管理者モニタリング票

所管課名

教育部 教育総務課

電話番号

0835(25)2590

1 施設の概要

施設名称	防府市立防府図書館
設置目的	市民の教養、調査研究、知的娯楽等に資するとともに、その教育及び文化の発展に寄与することを目的として、図書館を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人 防府市文化振興財団
	代表者	会長 上野 清
	所在地	防府市緑町一丁目9番1号
指定期間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）
選定方法		非公募
(非公募の理由)		営利を目的としない図書館サービスの継続性・蓄積性・専門性を保持していくためには、公共性の高い指定管理者が長期的展望に立って図書館経営を続ける必要があるため。
利用料金制の有無		無

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 防府市立防府図書館（業務内容の（6）を除き、以下「図書館」という。）の図書、記録、視聴覚資料その他資料（以下「図書館資料」という。）の収集、整理、保存及び提供に関すること (2) 移動図書館、地域文庫及び貸出文庫に関すること (3) 調査研究のための図書館資料の利用等に関すること (4) 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の開催及び奨励に関すること (5) 学習活動に必要な場、設備及び資料の提供に関すること (6) 他の図書館その他の関係機関との連携及び協力に関すること (7) 図書館の施設等の維持管理に関する業務 (8) その他指定管理者が図書館の管理上必要と認める業務					
組織体制	館長 1人 副館長 1人 総務企画係長 1人 係員 1人 整理運用係長 1人 係員 19人 計24人					
労務環境	事業計画書に沿った職員体制になっており、特定の職員に負担が生じないよう、適切な勤務シフトが組まれている。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①館外貸出者数（単位:人）						
	目 標 値	143,000	144,000	145,000	146,000	147,000
	実 績 値	125,702	138,034	135,478	—	—
	分 析	平年並みであった。				
②館外貸出冊数（単位:冊）						
	目 標 値	540,000	545,000	550,000	555,000	560,000
	実 績 値	482,909	531,343	510,519	—	—
	分 析	平年並みであった。				

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指 定 管 理 料	141,942,340	153,242,837	153,442,010	—	—
利 用 料 金	0	0	0	—	—
そ の 他	4,610	13,500	5,210	—	—
収入計(a)	141,946,950	153,256,337	153,447,220	—	—
人 件 費	69,791,036	72,047,957	74,652,237	—	—
光 熱 水 費	12,036,064	14,526,864	12,366,330	—	—
修 繕 費	260,623	711,535	895,631	—	—
そ の 他	59,859,227	65,969,981	65,533,022	—	—
支出計(b)	141,946,950	153,256,337	153,447,220	—	—
収支(a-b)	0	0	0	—	—
分 析	指定管理料は適切に執行された。				

②自主事業に係る収支					
収入計(c)					
支出計(d)					
収支(c-d)					
主 な 内 容					

5 利用者満足度

調 査 概 要	実施方法	利用者懇談会での意見聴取及び各イベント時のアンケート実施
	時期	5/28～2/26 のべ19回
	回収率	※回答総数 191
	満足度の割合	97%
対応状況		図書館資料の収集、提供及び各種イベントの実施について、利用者は概ね満足していた。 一部、更なる情報発信や電子図書館の利用方法の周知に要望があった。

6 評価

指定管理者による 自己評価	今年度も概ね計画通りのサービスが実施できた。 53万冊を超える資料の提供に加え、職員の明朗かつ丁寧な対応に、多くの利用者から賛辞をいただいている。また、各種イベントでは、参加者から満足と継続実施の要望が多数出ている。 一方で、子どもの不読率の上昇に対する効果的な対策が打ち出せておらず、今後の課題としたい。
市の評価	令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類になったことによる利用制限の解除に伴う図書館業務の変更等に適切に対応できた。昨年と比較して、図書館利用者（入館者数）も増加しており、電子図書館の貸出も軌道に乗ってきたことから、今後に期待したい。